

交流・文教ゾーン新設公園 町民ワークショップ

通信
Vol. 2

[ワークショップって何?]

- ・参加者同士で自由に意見交換をする体験型のイベントです。
- ・参加者は、町内在住・在勤の方であれば、誰でも参加できる形で、町HP、SNS、チラシの掲示や配布等で募集しました。

第2回

日時 : 令和6(2024)年11月24日
10:00~12:00

会場 : 竜王町公民館2階 研修室

参加者: 竜王町在住・在勤のみなさん
17人



【当日の内容】

1. 開 会
2. 資料の説明
3. 新しい公園プランの説明
4. 本日のテーマ
テーマ①「遊び」と「遊具」
テーマ②「交流」と「広場」
5. 各グループからの発表
6. 閉 会

11/24に竜王町公民館2階研修室で「第2回町民ワークショップ」を開催しました。

第1回ワークショップでいただいた意見をもとに「新設公園で実現したいこと!」について6つのテーマを設定しました。今回はその内「魅力的な遊び場」と「多世代の交流」の2つのテーマについて、さらに議論を深めるために意見交換を行っていただきました!

魅力的な遊び場

多世代の交流



グループ①



グループ②



グループ③

第1回
10/6

アイデア募集

第2回
[今回]

意見交換

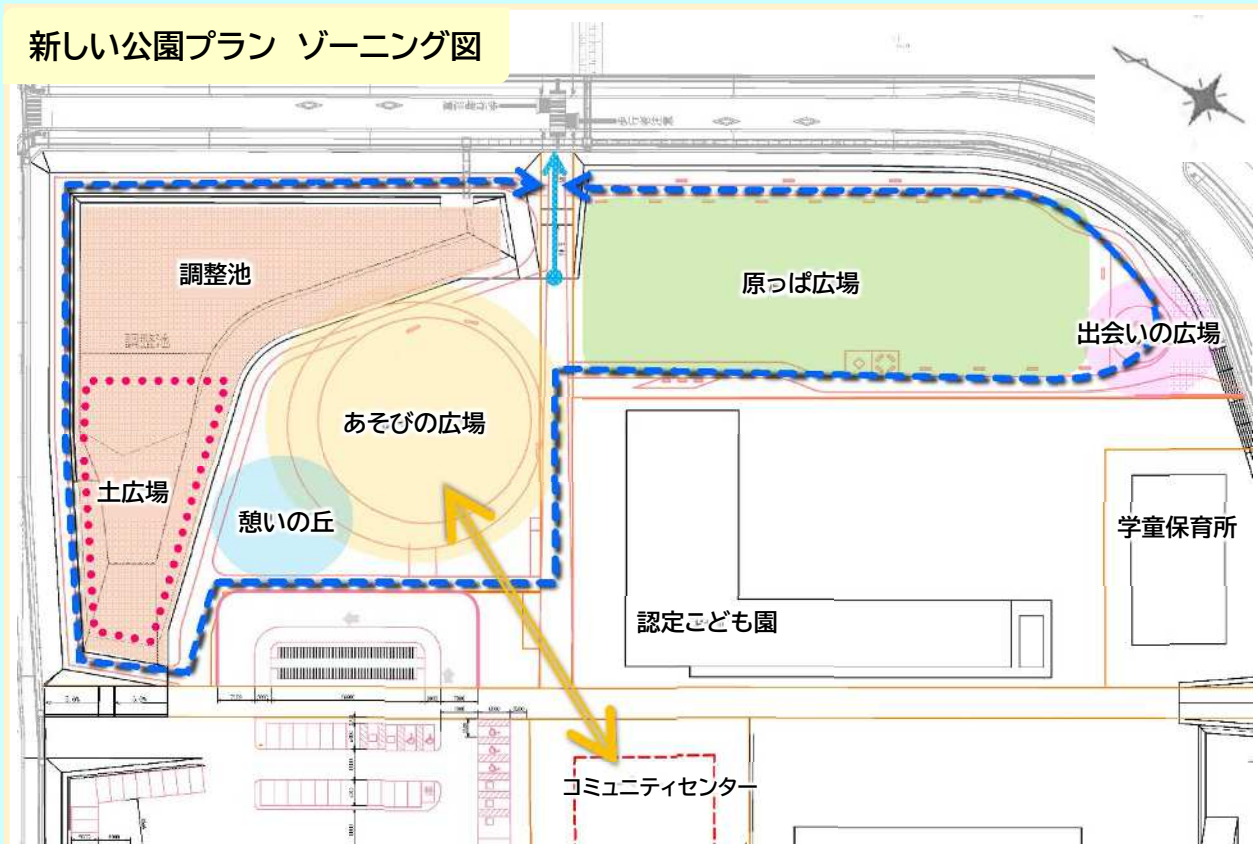
第3回
2月上旬

まとめ

【整備方針】

第1回町民ワークショップや町民アンケート調査などの意見を踏まえて事務局から新しい公園プランを提案しました！

新しい公園プラン ゾーニング図



【原っぱ広場】

- ・山の眺望を楽しめる広々とした原っぱ広場
- ・ウォーキングコース

【あそびの広場】

- ・駐車場に近い北側に幼児から児童まで楽しめる魅力的な遊具を配置したあそびの広場

【出会いの広場】

- ・幅広い年齢層の人たちが集まる出会いの広場

【憩いの丘】

- ・駐車場やあそび場に近い場所に、子どもを見守りつつ、山並みを眺めながら休憩できる憩いの丘

【調整池】

- ・調整池の活用検討
- ・浅い箇所を多目的広場として活用(土広場)

【計画地と周辺公園の比較】

計画地のあそびの広場について、周辺公園と規模の比較を示した資料を説明しました。

青い丸印があそびの広場の広さを示しており、同じスケールで周辺公園のあそび場にあてはめています。





計画地のあそびの広場について、
周辺公園と規模を比較した資料の説明後、
各グループで意見交換しました。

テーマ①「遊び」と「遊具」

【どんな遊びが大切か】

グループ①

- ・多世代が体を使って楽しめる単純な遊び
- ・五感で楽しめる遊び
- ・遊具を使って、体力の向上
- ・複数の階段や滑るところのある遊び
- ・滑り台は高さや形状など変化をつける
- ・親の目や手が届きやすい背の低い位置で遊ぶ
- ・ボール遊び(やわらかいボール)
- ・少し狭くして、ゆずり合いを学ぶ
- ・複数配置(取り合い、ケンカにならないよう)

【どの遊具を整備するか】

- ・メバル公園の遊具(防府市)(複層構造 防災遊具)
- ・公園のシンボルになる大きい遊具
- ・大きい遊具と周囲に小さい遊具の両方
- ・形状にこだわって予算に見合わないなら、その分1基でも他の遊具を増やす
- ・全身がダイナミックに使えるアスレチック遊具
- ・年齢別に分かれている遊具
- ・全天候型、夏や雨天時でも使える遊具
- ・健康器具は総合運動公園に設置した方が特色を活かせる
- ・多世代、親子で使える健康器具

グループ②

- ・幼児から児童まで幅広く遊べる
- ・大きい子小さい子が一緒に遊んでも楽しめる
- ・体を思い切り動かせる遊び(特に腕力を使う木登り等)
- ・他の子どもと交流(譲るなどを勉強できる)
- ・健康器具は人目が気になるため使用されない
- ・スポーツができるスペース
- ・バスケットゴールの設置

- ・シンボリック性のある背の高い遊具(チャレンジ精神を養える、見守る必要のある高さ)
- ・幼児向けの遊具と児童向けの遊具
- ・安全なブランコ、滑り台、砂場(テーブル型)
- ・ターザンロープ、アスレチック、スリルある滑り台
- ・インクルーシブ遊具、腕力を鍛える遊具
- ・トランポリン、上下運動できる遊具
- ・自由度のある遊具(大人が遊び方を促す)
- ・熱くならない素材
- ・幼児と児童はゾーン分け(安全を考慮)

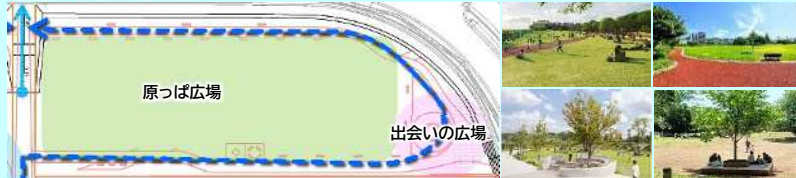
グループ③

- ・大きな子も小さな子もできる遊び
- ・大人が子どもと一緒にできる遊び
- ・大人と子どもが飽きずに一緒にいられること
- ・登る等の体力づくり、バランス遊び
- ・思いきり遊べること
- ・泥団子づくり(砂場と水道がセット)
- ・木登り(クスノキ、カシノキ、アラカシ)
- ・どんぐり拾い(色々な樹種があるとよい)
- ・芝生広場でボール遊び、起伏では芝滑り
- ・障がい者の方でもできる遊び

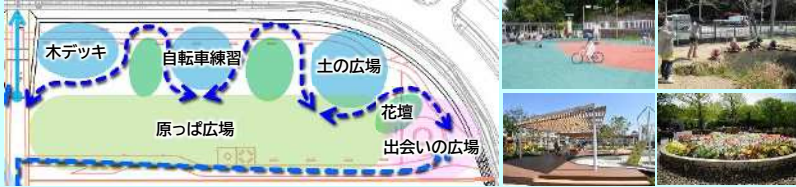
- ・象徴的な大型遊具(ここにしかない)
- ・長い滑り台、幅の広い滑り台
- ・ターザンロープ、ネット系遊具
- ・テーブル型の砂場(高齢者も一緒に遊びやすい)
- ・車いすに乗ったまま遊べる遊具
- ・目や耳に障がいを持った子も遊べる遊具
- ・ダイナミックな遊びができる遊具
- ・大人が乗っても構造的に大丈夫な遊具
- ・保守、管理のしやすい遊具

交流・文教ゾーン新設公園
町民ワークショップ

① 広々とした原っぱ



② 多様な空間のあるひろば



計画地の原っぱ広場について、園路形状に違いをつけた 2 案について意見交換しました。

① 広々とした原っぱ

② 多様な空間のあるひろば

テーマ②「交流」と「広場」

【どんな交流の場とするか】

グループ①

- ・ 犬も入れる公園(犬をきっかけに交流)
- ・ 同じメンバー、仲間で楽しめる空間
- ・ 自転車練習できる場所
- ・ 竹馬や縄跳びなど文化的な遊びを教えるしくみ
- ・ 多世代交流 マルシェ、地域の人が集える場所
- ・ お弁当をもってゆったりとすごせる場所
- ・ 景色が変わる曲線的なウォーキングコース
- ・ 「ギューポケ」のようなイベント
- ・ 調整池で自転車、芝でボール遊び
- ・ 落ち葉を活用した焼き芋イベント

【広場に必要機能】

- ・ 同じ目的を持つ人が集まりやすい区切った空間
- ・ 意図的に使い分けができる空間の整備
- ・ 広場の中にも木を植えて、木陰がほしい
- ・ 木登りできる木
- ・ 水遊びができるスペース
- ・ 仮設でもドッグランが欲しい
- ・ 人工芝でも良い(天然芝は維持管理が大変)
- ・ ベンチを多く作ってほしい
- ・ 掲示板を設置し、遊び仲間も募集

グループ②

- ・ 散歩
- ・ 子どもの自転車練習
- ・ こっそり隠れられるような小さな森(松尾公園)
- ・ ドングリの木やビオトープ(自然観察ができる場)
- ・ ベンチや日陰(ベンチに座って交流)
- ・ 内側だけでなく、外側も向けるサークルベンチ
- ・ 斜面で段々になっているベンチ
- ・ 知らない人と交流できる掲示板
- ・ 花壇づくりのイベント
- ・ 定期的なイベント(マルシェ)、キッチンカー

- ・ ②のように園路で区切りたくない
- ・ 広場に大きくなる木を 2 本植えて木陰がほしい
- ・ 休憩や交流ができる空間が広場の四隅にある
- ・ 日陰をつくる木陰、パーゴラ
- ・ 全面人工芝はどうかと思う
竜王町は自然が多く、虫や土汚れは気にならない
マイクロプラスチックが懸念される
- ・ 防災時は全天候型の人工芝が良いと思う
- ・ 遊具広場はゴムチップ舗装が良い

グループ③

- ・ チェアリング(山や田んぼ風景、コーヒー)
- ・ 気軽に散歩できる場所
- ・ 買物のついでに立ち寄って休憩
- ・ 幼児の自転車練習、サイクリング
- ・ フリマやマルシェがたまに(年 1 程度)
- ・ やさいもで落葉を利用するイベント
- ・ 花壇(植えたい人に植えてもらう)
- ・ 中学生の吹奏楽などの発表会

- ・ ランニングコストを考慮すると、人工芝が良い
- ・ 天然芝の場合、誰が芝を管理するのか
刈った後の草の山を処理するのが大変
- ・ 芝刈りはロボット芝刈り機を利用
- ・ 芝生を食べてくれる羊を飼う
- ・ 木陰でゆっくり休憩
- ・ 大きい木の下に
ウッドデッキ(木陰)



魅力的な遊び場

多世代の交流

グループ①～③の意見を
テーマごとにまとめました

テーマ①：「遊び」と「遊具」

【どんな遊びが大切か】

- ・ 体力づくり、バランス感覚、腕の力を使う遊び
- ・ 思いっきり体を動かせる遊具
- ・ 泥だんご（水栓）、木登り（クス、カシ）、どんぐり拾い、芝すべり
- ・ ボール遊び

【どの遊具を整備するか】

- ・ 公園のシンボルとなる大きな遊具
- ・ 大きな遊具を1つだけということは避ける
- ・ 大きな遊具と周囲に小さな遊具の両方
- ・ 長いすべり台、幅の広いすべり台、ターザンロープ、ネット系遊具
- ・ テーブル型の砂場（しゃがまずに、高齢者も車いすでも一緒に遊べる）
- ・ こどもとおとなが、一緒に利用できる丈夫な遊具
- ・ 夏でも使える遊具
- ・ 健康器具は総合運動公園等の他の施設に設置することを検討
- ・ ベンチや木陰、親の目が届きやすい工夫

テーマ②：「交流」と「広場」

【どんな交流の場とするか】

- ・ チェアリング（いやし・くつろぎ）
- ・ 犬を連れて入れる公園
- ・ 買い物ついでに立ち寄り休憩
- ・ 曲線的なウォーキングコース
- ・ 竹馬や縄跳びなど、遊びをこどもに教える
- ・ お弁当をもってゆっくり過ごせる場所
- ・ 大きな木の下にウッドデッキ
- ・ 落ち葉を活用して、焼き芋イベント
- ・ マルシェ、フリマ、キッチンカーなど
定期的なイベント（月1回、年間計画）
- ・ ルールを設けてボール遊び
- ・ 花壇（植えたい人に育ててもらう）
- ・ 中学生の吹奏楽などの発表

【広場に必要な機能】

- ・ 休憩できる木陰、ベンチをたくさん配置
- ・ 木登りができる木
- ・ 広場の中にも大きな木を植える
- ・ 水遊びができるスペース
- ・ 仮設のドッグラン（月1回など）
- ・ 人工芝よりも天然芝が良い
- ・ 天然芝は維持管理が大変
- ・ ランニングコストを考えると人工芝が良い
- ・ 幼児の自転車練習

